

---

## ■第 16 回福祉社会学会大会 プログラム(速報版)

---

本年 6 月 16 日(土)・17 日(日)の両日に中京大学豊田キャンパス(〒470-0393 愛知県豊田市貝津町床立 101)にて開催される第 16 回福祉社会学会大会のプログラムの速報版をお届けします。

開催校：中京大学(愛知県豊田市貝津町床立 101)

		一般	学生
大会参加費	事前振込	4,000 円	1,000 円
	当日	6,000 円	3,000 円
懇親会費	事前振込	4,500 円	1,000 円
	当日	6,000 円	3,000 円
お弁当+お茶 (2 日目のみ)	事前振込	1,200 円	1,200 円

### 第 1 日目 6 月 16 日(土)

---

10:30-11:30 編集委員会(85A) 研究委員会(85B)

11:30-12:45 理事会(85C)

12:30 受付開始(8号館1階ロビー)

13:00-15:30 自由報告/テーマセッション

**[第 1 部会] 子ども・社会的養護(845) 司会：藤間公太(国立社会保障・人口問題研究所)**

- 「子どもの貧困」に対する教育学部学生・教員の責任意識 杉井潤子(京都教育大学)  
伊藤悦子(京都教育大学)
- 発達が気になる子の保護者支援の在り方——母親のライフストーリーをもとに  
佐々木沙和子(帝京大学)
- ケアの「家庭性」と「有償性」をめぐって——社会的養護の養育者の語りから  
安藤 藍(首都大学東京)
- 中世的人権状況におかれた日本の子供と家族——国連子供の権利委員会の児相問題審議  
水岡不二雄(一橋大学)

**[第 2 部会] 障害者・当事者組織(841) 司会：岡部耕典(早稲田大学)**

- 1970 年代障害者運動 たんぽぽ運動における母親の経験——その障害観の揺らぎに注目して  
平島朝子(東京大学大学院)
- 障害者総合支援法における「サービスパックモデル」ごとの介護給付費・給付時間分析  
中根成寿(京都府立大学)
- 東大阪市のアルコール関係機関のネットワーク——連携と統合 豊山宗洋(大阪商業大学)
- HIV・エイズ予防啓発活動における疫学者とゲイ NGO の協働体制の展開について  
井上智史(九州大学大学院)

**[第3部会] コミュニティ・地域 (842)**

**司会：妻鹿ふみ子 (東海大学)**

1. 社会関係資本の検討——地域社会における若者支援を通じて 桑原 啓 (京都大学大学院)
2. 名古屋市での“生活支援事業”における住民組織の活動と医療生協の運動との比較検討  
橋本吉広 (NPO 法人地域と協同の研究センター)
3. 地域福祉活動における圏域設定の課題——地域福祉政策における地域重視の現状から  
高野和良 (九州大学)
4. 支援する対象としての“LGBT コミュニティ” ——トロント市 The519 のケースから  
桜井政成 (立命館大学)

**[テーマセッション①] 「計量研究をいかに政策提言につなげるか——新世代の福祉社会学」(844)**

**司会：上村泰裕 (名古屋大学)**

1. 社会経済的地位と再分配への支持——ISSP のデータを用いたマルチレベル分析  
池田 裕 (京都大学大学院)
2. 家族福祉と社会関係資本——SEM を用いた分析 北井万裕子 (立命館大学大学院)
3. 貧困母子世帯における生活保護制度の利用と問題 吉武理大 (慶應義塾大学大学院)
4. 計量研究と政策提言の距離 大久保将貴 (東京大学)

**15:45-17:45 自由報告**

**[第4部会] 介護・看取り (845)**

**司会：株本千鶴 (相山女学園大学)**

1. 介護予防・日常生活支援総合事業における福祉ミックス——東京都 A 自治体の事例研究  
金 鉉卿 (お茶の水女子大学大学院)
2. ホームヘルプにおける看護婦家政婦紹介所の歴史的展開  
——家庭奉仕員・ホームヘルパーとの関係から  
佐草智久 (立命館大学大学院・日本学術振興会)
3. ターミナル期における多職種連携の課題の考察——職能団体への聞き取り調査から  
角 能 (東京大学)  
高橋幸裕 (尚美学園大学)

**[第5部会] ケア・社会化 (841)**

**司会：齋藤暁子 (島根県立大学)**

1. 社会福祉領域における「社会化」——介護、医療、子育て、成年後見の社会化に焦点をあてて  
白石敦子 (日本社会事業大学大学院)
2. ヤングケアラー概念の再構成——肯定的・否定的影響の理論化にむけて  
大橋恭子 (慶應義塾大学大学院)
3. 高齢者ケアにおける家族と社会的文脈——ヨーロッパの国際比較データによる分析  
西野勇人 (立命館大学大学院)

**[第6部会] 権利・共生 (842)**

**司会: 冨江直子 (茨城大学)**

1. 共生社会の論理と概念図式——「生活の質」およびガバナンスとの関連で  
三重野卓 (山梨大学)
2. 社会福祉の範囲規定における境界のゆらぎと権利侵害——潜在的権利侵害はどこに生じるか  
寺田貴美代 (新潟医療福祉大学)
3. 女性活躍推進政策下で、女性は働きやすくなったのか——半構造化面接による検討  
榊原圭子 (東洋大学)

**18:00-20:00 懇親会 (2号館食堂)**

**第2日目 6月17日 (日)**

**9:00 受付開始 (8号館1階ロビー)**

**9:30-12:00 自由報告**

**[第7部会] 高齢者・介護 (845)**

**司会: 天田城介 (中央大学)**

1. 高齢者サロンにおける「支援者」の位置——支援者／被支援者間の役割移行の観点から  
木村雅史 (東北大学)
2. 宅老所の展開からみる地域共生社会概念の検討  
杉岡直人 (北星学園大学)  
畠山明子 (北星学園大学)
3. 老年期の中国残留孤児の生活実態と課題  
鍾 家新 (明治大学)
4. 韓国のベビーブーム世代の住居関連移動とその規定要因  
——実態、研究動向、研究結果を中心に  
金 相淑 (お茶の水女子大学大学院)

**[第8部会] 社会福祉政策 (841)**

**司会: 平野寛弥 (目白大学)**

1. 非営利—営利サービス供給組織のエコロジー——Middle-ground approach  
須田木綿子 (東洋大学)
2. Age-Period-Cohort モデルによる福祉意識の分析  
中田知生 (北星学園大学)  
武川正吾 (東京大学)
3. パネルデータによる再分配意識の規定要因分析——自己利益仮説とイデオロギー仮説の検証  
伊藤理史 (同志社大学)
4. 日本型福祉国家における再分配政策支持の規定要因  
——公共事業・高齢者福祉・稼働能力者に対する福祉の比較から 永吉希久子 (東北大学)

**[テーマセッション②] 拡大テーマセッション「福祉専門職と社会学」(842)**

**司会: 榎田美雄 (神戸市看護大学)**

1. 福祉専門職と社会学——このテーマを検討する意義あるいは、専門職の困難と社会学  
樫田美雄（神戸市看護大学）
2. 親支援職における社会学的視点とジェンダー視点の必要性——NPO と大学での支援経験から  
巽 真理子（大阪府立大学）
3. 政策科学と社会福祉学の方法論から「社会学を基盤とした専門職」構想を考える  
中根成寿（京都府立大学）
4. 社会福祉士養成課程における「実習」の効果と影響——職業意識形成・職業決定の観点から  
中野航綺（東京大学大学院）

**12:15-13:15 総会・昼食（411）**

**13:30-16:30 大会シンポジウム（開催校・研究委員会共催）（411）**

**「市民」の境界と福祉——「非 - 市民」と「部分的市民」から考える**

コーディネーター：亀山俊朗（中京大学）

司会：亀山俊朗（中京大学）・上野加代子（東京女子大学）

1. 部落問題とシティズンシップ 矢野 亮（日本福祉大学）
2. 「外国人」のシティズンシップ 丹野清人（首都大学東京）
3. 「障害者」と／のシティズンシップ 岡部耕典（早稲田大学）